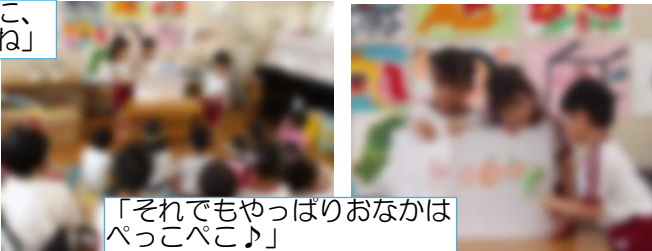
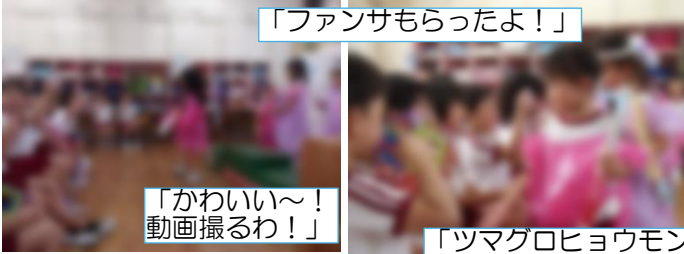


「何歳？4歳はごぎに、5歳は椅子に座ってね」



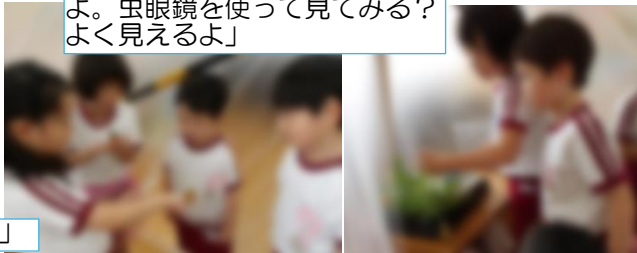
「それでもやっぱりおなかはぺっこぺこ♪」



「ファンサもらったよ！」



「かわいい～！動画撮るわ！」



「ツマグロヒョウモンチョウだよ。虫眼鏡を使って見てみる？よく見えるよ」



「おばけやしきこわーい！」

「バケツを置いてみた！」

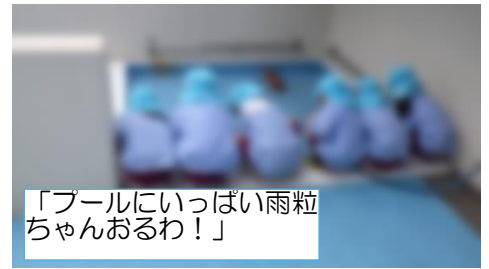


「ここと繋ごう」



「水が流れまーす！」

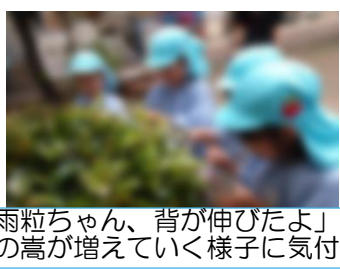
先月のどろんこ遊びは、どんどん穴を掘って、水を溜めたり、穴同士を繋ぐ水路を掘ったりして遊んでいましたが、今回は、樋を存分に使って、水を流していく遊びが増えました。深く掘った穴まで水が流れていくように、友達と相談し合ったり、協力し合ったりして遊んでいます。絶妙な角度をつくるためにバケツを樋の下に置くなど、様々な試行錯誤の姿が見られます。水が上から下に流れるのは当たり前なことだと大人は知っていますが、それは私たちが今まで知らず知らずの間に実体験を通して学んできたから知っていることです。子どもたちは実際に樋を繋ぐ中で「なんか水止まった」「流れていけへん！」と、なぜ思い通りにならないのかという経験をしました。そこから試行錯誤をし、樋を斜めにしたら水が流れていくのだと気付いていきました。遊びの中で子どもたちは「なんで？」「どうしたらいいんだろう？」という気持ちをもつことで、考え、試して、学びを得ていきます。遊びの中で育っていく保育を今後も進めていきます。



「プールにいっぱい雨粒ちゃんおるわ！」



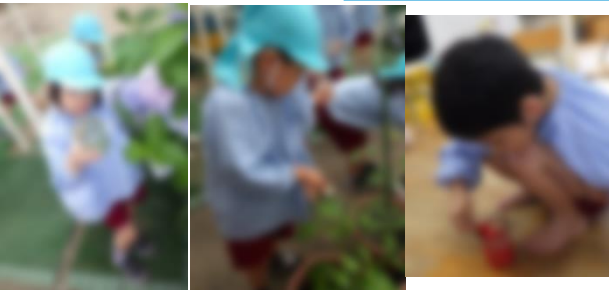
「雨粒ちゃん見つけた！」



「雨粒ちゃん、背が伸びたよ」(コップの中で水の嵩が増えていく様子に気付いていました)



「虹色雨粒ちゃん！」



雨上がりの日、皆で雨粒集めをしました。葉の上、遊具の淵、バケツの中など、いろいろなところにある雨粒を見つけて、コップに集めていきました。「もしかしたらプールにいっぱいあるんじゃない？」と思いついたそら組は、プールまで行ってたくさん雨粒を集めました。その雨粒に好きな絵の具をひとさじ混ぜて、皆で大きな紙に、絵の具をつけた筆を振って、虹色の雨を降らせました。(スパッタリングという技法です)一人一人がつくった色付きの雨粒が混ざって、虹色になったり不思議な色になったりしたことに「そら組の虹色の雨やな」と喜ぶ姿がありました。今後も季節ならではの遊びを楽しんでいきたいです。